

秋田内陸縦貫鉄道 安全報告書



2021 年度(令和 3 年度)版

この安全報告書は、鉄道事業法に基づき、当社における鉄道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

皆様でご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せくだされば幸いです。

当社の鉄道事業に対し、日頃のご利用とご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全安定輸送を掲げております。法令の遵守と安全安心を基軸とする輸送サービスの提供に努め、おかげさまで大きな事故も無く令和の時代も前進し続けています。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまからのお声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見をお願い致します。

秋田内陸縦貫鉄道(株) 代表取締役社長 吉田 裕幸

2 当社の経営理念

ANJT Way (ないりくせんうえい)

『私たちは安全安定輸送と価値あるサービスの提供により、人と人、地域の今と未来をつなぎ、心豊かで笑顔あふれる社会の実現に貢献します。』

3 基本方針と安全目標

(1)基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下社員全員に周知・徹底し、実行しております。

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義あるときは安全と思われる取扱いをします。
- ⑤事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2)安全目標

輸送安全目標は、お客さまの死傷事故ゼロ、社員の死亡事故ゼロです。

踏切障害事故等もゼロを目指し、引続き安全・安定輸送の確保と感染予防対策を含めた安心“乗車”の確立を目標に社員一同目標達成に向け全力で取り組みます。

4 2021 年度事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 鉄道運転事故等……ありませんでした。
- (2) インシデント(事故の兆候)……ありませんでした。
- (3) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)……ありませんでした。
- (4) 踏切障害事故……4月12日に1件発生しましたが、幸い、お客様及び自動車運転者並びに乗務員に負傷者等はありませんでした。再発防止対策として仙北市様のご協力のもと警標や白線等を更新し注意喚起を図りました。
- (5) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)
2021年度は、輸送障害が22件発生いたしました。内訳は下記の通りです。
自然災害……18件(雪害14件、倒木、水害、震害、冷害各1件)
電気関係……1件
車両関係……1件
その他……1件(動物)
- (6) 行政指導等
ありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取組み

(1)安全のレベルアップ

当社では、年度毎に安全計画を定めて取り組んでいます。

事故または事故のおそれがある事象については、徹底した原因究明に努めており、早期復旧と再発防止に取り組んでおります。

業務では、今年度も「基本動作・基本ルール」遵守と感染拡大防止のためのルール遵守の徹底を図りました。特に運転業務では、出区点検の実践確認を始めるなど、基本の再確認に力を入れております。

(2)安全風土の構築

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つよう、テーマを決めて安全に対する取組みについて討議し、全社員に周知し実行しております。会社及び社員個々のリスク感度(危機管理力)をより一層高め、事故及び事故の“芽”の正しい把握と事前に摘み取ることのできる組織を目指しております。箇所ごとの取組や「ヒヤリハット」事象を毎月の安全会議において各職場から発表・共有し、全社員で無事故、無傷害に努めました。

(3)変化への的確な対応と安全等教育

訓練会を活用し、異常時対応能力の向上を図りました。

2021年度も、毎月の定例乗務員指導訓練において様々な事例を参考にして指導訓練を実施したほか、北秋田市消防様と連携して救急搬送訓練を実施しました。

また、コロナ禍により、東北鉄道協会技術力共有化事業の実車運転訓練会やJR各地区センター主催の踏切事故ゼロキャンペーンなどが実施できない中、安全マネジメント内部監査員研修や各種研修会に社員を積極的に参加させ安全意識の高揚とスキルアップを図りました。

(4)コロナウイルス等感染拡大予防対策

コロナウイルス感染拡大予防として、ガイドラインに沿った感染拡大予防措置を講じており、飛沫防止、消毒とお客様へのマスク着用のご協力をお願いしました。駅及び列車内の換気はもちろん、光触媒抗菌コート of 施工を継続しておりますが、引き続き、駅や列車ご利用時における感染予防のご協力もお願いいたします。

(5)安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、収入の多くを安全関連施設への投資や施設・車両の修繕費にあてています。

2021年度は修繕費約173百万円の支出をしております。

このほか、観光庁の既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業費補助金を受けて、AN8808号車の観光列車改修を実施し、マタギ文化を表現する古民家風内装の秋田マタギ号として特徴ある車両に生まれ変わりました。このほか国と県からの鉄道施設総合安全対策工事業費補助金を受けて、踏切保安設備の更新1箇所、レールの重軌条化1,609m、木製マクラギ同種交換50本、木製マクラギのPCマクラギへの交換700本、トンネル改修1箇所、ホーム改修1箇所、踏切道補修1箇所、のり面改良1箇所、通信ケーブルの更新2,182m、全線の軌道整備、熱風融雪装置の改修、旅客車両の重要部検査(2両)、車両修繕(2両)、車輪車軸取替(3両)、保守用車(1両)の検査修繕などを実施しました。このほか列車集中制御装置(CTC)更新に向けた調査設計及び橋梁の健全度調査も実施しております。

また、コロナウイルス感染拡大予防のため、地域公共交通感染拡大防止対策事業補助金を受け、無人駅23駅の光触媒抗菌コーティングを施工するとともに、鷹巣駅、合川駅、米内沢駅、阿仁前田温泉駅、阿仁合駅・角館駅には足踏み消毒ポンプスタンドを設置しました。



救急搬送訓練

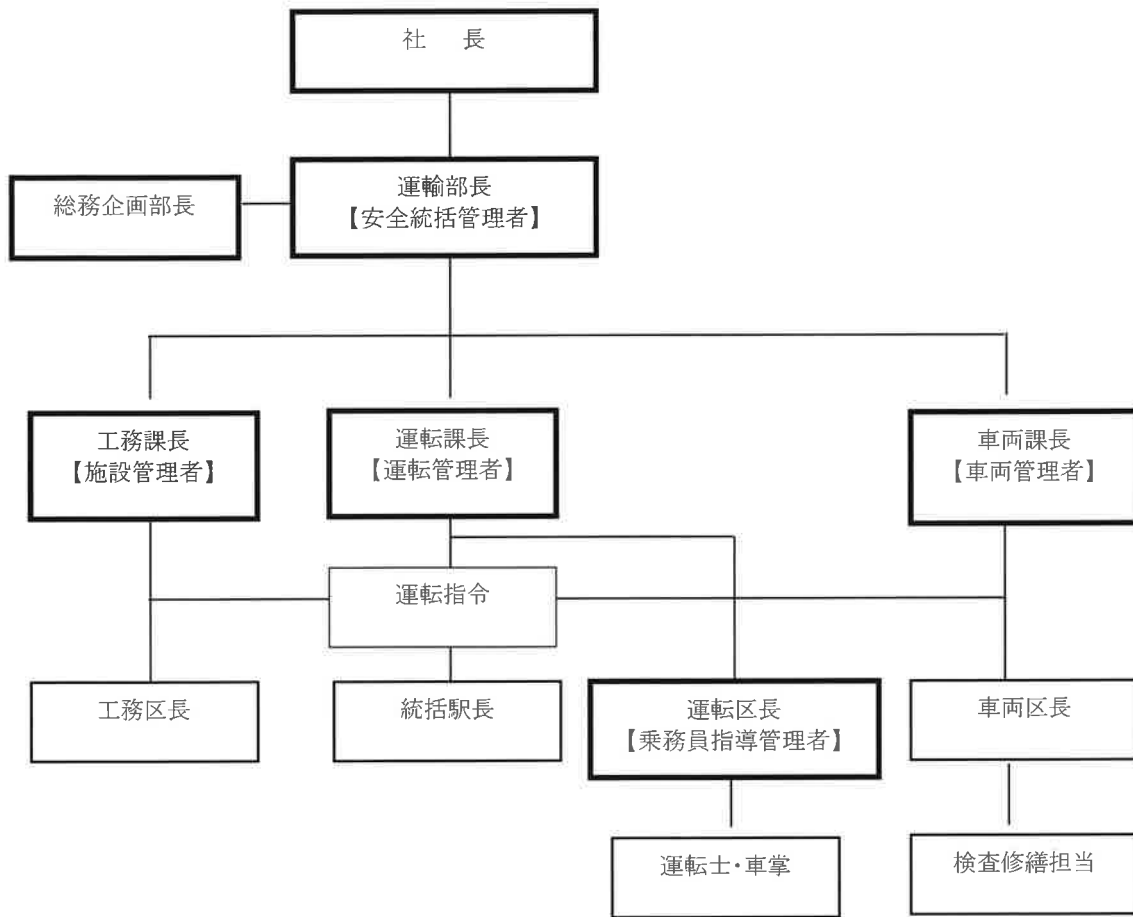


足踏み消毒ポンプスタンド



AN-8808 秋田マタギ号

6 当社の安全管理体制



役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運輸課長 (運輸管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運輸区長 (乗務員指導管理者)	運輸管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
工務課長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両課長 (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務企画部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

7 地域の皆さまとの連携

- (1) 2021年度も感染者減少が見られない中、地域やパートナー企業様とワーケーション需要に対応可能な枠組みづくりと受入れ整備に取り組みました。また、観光列車を活用した地域文化の発信や地域素材を活かしたコンテンツ作りを進めるとともに、地域の皆様が安心して駅や列車をご利用いただけるよう対策を講じました。さらに、秋田県のご支援を頂きながら秋田県内の教育旅行の利用拡大に取り組み、ヘッドマークレプリカプレゼントや沿線文化体験として車内でのマタギのガイドなど、多くの皆様に貸切や企画乗車券及びギフト回数券でご利用いただき、地域の魅力を再発見して頂く良い機会になりました。
- (2) 地域活性化事業などによる駅周辺環境改善や無人駅清掃などの地域ボランティア活動も行われ、沿線の草刈除草など環境整備も更に改善されました。また、各駅では地域の皆様や施設の方々の花の植栽やプランターの設置による構内の魅力アップを実施して頂き、車窓からお客様の目を楽しませて頂いております。今年も駅環境の美化運動へのご協力、誠にありがとうございました。
- (3) 当社は、路線の走る北秋田市の素材を活用した地域PR図る団体『やってみよう！北秋田』に参画しております。団体の事務局を担いながら今年度は「マタギの星空山北秋田の森吉山」をテーマとした星空案内人養成講座を開くなど地域の人財づくりにも力を入れました。
- (3) 沿線地域夏の一大イベント『田んぼアート』は、今期も沿線の農家の皆さん、地域振興局、市役所、建設業協会、仙北市小松・東前郷環境保全協議会など多くの皆さんと連携して沿線5か所において実施されました。今年も内陸線の車窓からの眺めが特等席であることをPRし、ご乗車のお客様に楽しんでいただきました。地域を代表する観光素材としての田んぼアート鑑賞を目的とした『田んぼアート鑑賞列車』を臨時運行したほか、田んぼアートつながりで青森県の弘南鉄道様とのコラボも実施できました。たくさんの皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。
- (4) 各種イベント列車運行の際にも、地域の皆様からご協力いただいております。人気企画『ごっつお玉手箱列車』や『山のごちそう列車』などは、感染予防を図りながら、地域の皆様と連携し今期も催行できました。また、おひな様列車の吊るし雛や車内のおひなさまの絵の車内飾りなど、様々な場面で多くの皆様からご協力いただいているほか、今期は秋田市の結婚式場センチールラゼン千秋公園様と連携した県内素材に特化したフレンチレストラン列車『笑 EMI ダイニング』を実施できました。さらに世界文化遺産に登録された北海道北東北の縄文遺跡群の一つ伊勢堂岱遺跡を活用しウェディング企画や記念撮影を実施しました。また最寄りの縄文小ヶ田駅も鷹巣建設業協会様のご支援によりリニューアルして頂きました。様々な場面で多くのお客様にお楽しみ頂くことができました。ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。



マタギガイド



列車と田んぼアート



縄文小ヶ田駅

8 ご連絡

安全報告書へのご感想、当社の安全やサービスの取組みに対するご意見をお寄せください。

秋田内陸縦貫鉄道株式会社 運輸部	
電話 0186-82-3231	FAX 0186-82-3793
E-mail n-info20@akita-nairiku.com	
■月～金 8:30～17:00	